

八戸市総合農政審議会資料  
平成 28 年 10 月 24 日

**第 11 次八戸市農業計画に関する地区別計画案について**

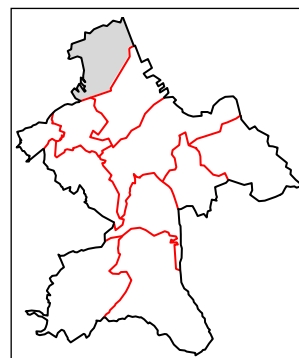
## 地区別振興方向

市川地区、下長地区、上長地区、豊崎地区、館地区、是川地区、大館地区、南浜・美保野地区、旧市内、島守地区、中沢地区の11地区別に特性を生かした振興方向を次のとおりとします。

### 1 市川地区

#### (1) 関係集落名

轟木、和野、高屋敷、赤畑尻引、桔梗野  
向谷地、浜市川、橋向、古場蔵



#### (2) 農業構造

##### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	453	335	74	42	219	118
平成22年	396	271	76	22	173	125
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	453	315	92	25	17	4
平成22年	396	267	82	22	20	5
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	596	253	343
平成 22 年	461	225	236
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	757	594	163
平成 21 年	747	586	161
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	307	222	38	-	-	2	3	42
平成 22 年	248	175	26	1	1	1	6	38
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	307	138	116	14	11	15	13
平成 22 年	248	131	82	11	6	9	9
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	307	162	92	11	25
平成 22 年	248	115	95	14	15
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
1	8	8
1	2	6

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	57	50	51	46	15	4
平成 22 年	60	59	53	52	13	7
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	34	13	19	8	17	5
平成 22 年	37	15	16	8	23	7
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の北部に位置し、奥入瀬川及び五戸川流域に水田地帯が開けています。田が耕地面積の 8 割を占めており、夏期は太平洋から吹き付けるやませ(偏東風)の影響を受けやすい地域です。

水田転作によるいちご栽培や大豆栽培が行われています。

**(4) 主に生産されている農産物**

水稻、小麦、大豆、いちご

**(5) 振興方向**

水稻については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、基幹作物として生産を継続するとともに、転作田を有効活用した施設いちご、並びに、集団的に生産されている小麦や大豆を中心とする複合経営の確立を促進します。

また、小麦や大豆生産のさらなる集団化を促進するため、農地の流動化を図ります。

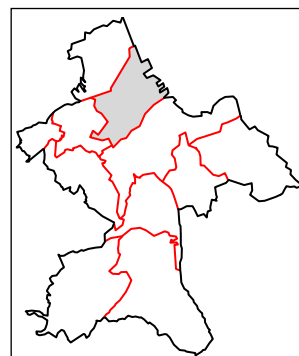
**(6) 振興する農産物**

水稻、小麦、大豆、いちご

## 2 下長地区

### (1) 関係集落名

長苗代、石堂、河原木、高館、小田、  
日計、八太郎



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	333	251	35	26	190	82
平成22年	305	226	58	14	154	79
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	333	267	49	10	6	1
平成22年	305	218	66	12	7	2
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	417	174	243
平成 22 年	399	172	227
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	449	342	107
平成 21 年	442	337	105
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	185	142	5	-	2	-	1	35
平成 22 年	190	136	9	-	1	-	-	44
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	185	94	78	3	5	1	4
平成 22 年	190	83	94	5	4	2	2
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	185	100	33	19	13
平成 22 年	190	101	38	23	5
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
1	12	7
1	17	5

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	40	25	33	20	13	5
平成 22 年	38	31	30	23	14	8
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	37	25	23	12	20	13
平成 22 年	41	24	28	15	18	9
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の北東部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の 8 割が田となっています。

市街地に隣接し、混住化が進んでいます。

主要作物は水稻の他、トマト等の施設野菜、ねぎ等の露地野菜となっています。



**(4) 主に生産されている農産物**

水稻、トマト、ねぎ

**(5) 振興方向**

都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稻栽培を基幹としながら、施設トマト栽培と露地ねぎ栽培を促進します。

また、都市化の進んでいる集落については、施設栽培による多品目生産を促進し、市民へ「新鮮」で「安全」な食料の安定供給を図ります。

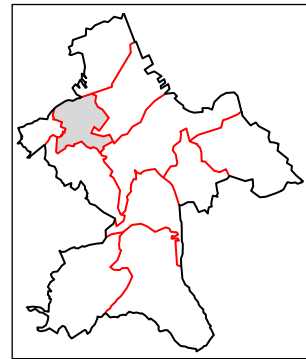
**(6) 振興する農産物**

水稻、トマト、ねぎ

### 3 上長地区

#### (1) 関係集落名

正法寺、三條目、笹ノ沢、尻内、大仏



#### (2) 農業構造

##### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	454	255	42	13	200	199
平成22年	388	202	41	9	152	186
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	454	393	45	6	5	5
平成22年	388	331	38	9	6	4
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	453	188	265
平成 22 年	331	149	182
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	571	335	236
平成 21 年	564	331	233
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	179	142	9	-	-	1	1	26
平成 22 年	165	133	6	1	-	1	-	24
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	179	113	56	3	2	1	4
平成 22 年	165	100	55	7	1	1	1
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	179	121	12	7	12
平成 22 年	165	73	41	3	24
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
1	5	21
-	11	13

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	40	76	31	21	14	55
平成 22 年	36	73	30	25	11	48
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	47	27	12	4	36	23
平成 22 年	46	25	16	5	36	20
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の西部に位置し、馬淵川の北側に開けた水田地帯であり、耕地面積の 6 割が田です。

丘陵地では農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。

東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸、区画整理事業等により、都市的土地利用が漸次増加しています。

**(4) 主に生産されている農産物**

水稻、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン

**(5) 振興方向**

水稻については、基幹作物として、国の制度を利用しながら主食用及び飼料用の生産を継続するとともに、ごぼう、ながいも、にんにく等の露地野菜生産を促進します。

また、高齢化等に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜から軽量野菜のピーマンへの移行を促進します。

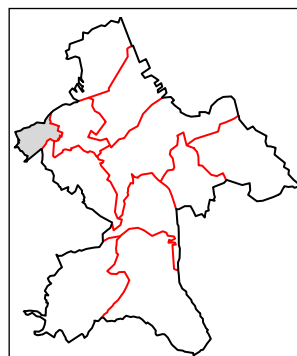
**(6) 振興する農産物**

水稻、ごぼう、ながいも、にんにく、ピーマン

## 4 豊崎地区

### (1) 関係集落名

滝谷、上七崎、下七崎、永福寺



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1			自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	
平成17年	239	137	18	12	107
平成22年	229	129	24	16	89
平成27年					

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	239	197	29	7	4	2
平成22年	229	184	26	11	6	2
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	244	101	143
平成 22 年	211	100	111
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	343	178	165
平成 21 年	339	176	163
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	78	43	14	-	-	-	-	21
平成 22 年	105	70	13	-	-	3	-	19
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	78	35	33	5	1	1	3
平成 22 年	105	58	37	5	1	1	3
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	78	58	5	6	6
平成 22 年	105	41	13	4	37
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
-	1	2
-	9	1

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	15	17	11	5	4	12
平成 22 年	23	22	18	11	6	11
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	16	12	10	7	8	5
平成 22 年	22	8	9	3	15	5
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の西部に位置し、浅水川に沿って水田が開けており、耕地面積の割合は田 5 割、畑 5 割となっています。

ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにくを中心とした露地野菜栽培が行われています。



#### **(4) 主に生産されている農産物**

水稻、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく

#### **(5) 振興方向**

水稻については、国の制度を利用しながら生産を継続するとともに、現在、生産団地が形成されているピーマン、ごぼう、ながいも及びにんにくについては、生産技術の向上等により生産量の拡大を図ります。

また、就業者の高齢化に伴う労働体制の変化に対応し、重量野菜からピーマン等への移行を促進することにより、地域の実情に応じた安定的な営農体制の確立を図ります。

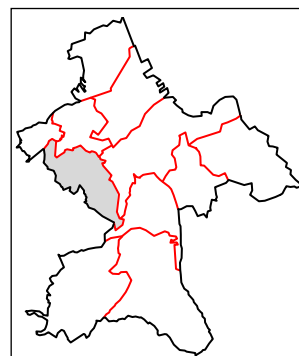
#### **(6) 振興する農産物**

水稻、ピーマン、ごぼう、ながいも、にんにく

## 5 館地区

### (1) 関係集落名

八幡、坂牛、通清水、一日市、鳥沢  
鷹ノ巣、高岩



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	330	184	36	30	118	146
平成22年	304	165	42	14	109	139
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	330	259	46	17	7	1
平成22年	304	239	33	23	5	4
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	328	140	188
平成 22 年	280	129	151
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	358	160	198
平成 21 年	353	158	195
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	152	59	3	29	1	3	-	57
平成 22 年	149	55	3	18	1	3	2	67
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	152	68	62	11	2	3	6
平成 22 年	149	71	63	4	3	4	4
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	152	63	17	47	7
平成 22 年	149	59	13	46	15
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
-	13	5
-	12	4

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	30	17	24	13	11	4
平成 22 年	27	27	24	25	9	2
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	25	9	12	3	15	6
平成 22 年	31	12	16	5	19	7
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南西部に位置し、耕地面積の割合は田 4 割、畑 6 割となっています。

りんごの栽培が盛んであり、生産団地を形成している他、ミニトマトの施設野菜栽培も行われています。

東北新幹線や東北縦貫自動車道の北方延伸等により、都市的土地利用が増加しています。

#### **(4) 主に生産されている農産物**

水稻、ミニトマト、りんご、もも

#### **(5) 振興方向**

水稻については、基幹作物として、国の制度を利用しながら飼料用及び主食用の生産を継続するとともに、現在、生産団地が形成されている施設ミニトマトについては、青枯れ病対策として抵抗性台木による接ぎ木栽培の導入を促進し、生産量の拡大を図ります。

りんごについては、紋羽病対策として新品種への改植を促進するとともに、ももへの改植も促進し、複合的な果樹生産体制の確立を図ります。

また、施設スナップエンドウの促成栽培に取り組むとともに、引き続き露地ねぎ栽培に取り組むことにより経営の充実を図ります。

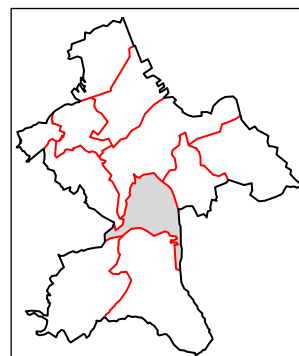
#### **(6) 振興する農産物**

水稻、ミニトマト、スナップエンドウ、ねぎ、りんご、もも

## 6 是川地区

### (1) 関係集落名

田中、風張、志民、妻ノ神、岩ノ沢、水野、西山、母袋子、差波、鴨平、番屋、天狗沢



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	230	141	40	19	82	89
平成22年	151	74	22	7	45	77
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	230	160	37	16	12	5
平成22年	151	116	20	6	5	4
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	283	137	146
平成 22 年	141	64	77
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	419	118	301
平成 21 年	413	116	297
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	102	23	24	3	2	1	15	34
平成 22 年	59	11	11	1	2	1	2	31
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	102	20	44	12	9	6	11
平成 22 年	59	19	29	4	3	1	3
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	102	43	14	15	7
平成 22 年	59	13	4	15	6
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
-	9	14
-	16	5

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	46	57	27	18	29	39
平成 22 年	23	27	18	9	14	18
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	24	15	9	3	17	12
平成 22 年	12	5	9	2	7	3
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南部に位置し、河川に沿って水田地帯が開けていますが、起伏が多く、耕地面積の 7 割が畑となっています。

ねぎ、ながいもを基幹作物とした露地野菜栽培、葉たばこ栽培、トマト等の施設野菜栽培が行われています。



**(4) 主に生産されている農産物**

水稻、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ

**(5) 振興方向**

ながいも、ねぎ等の露地野菜栽培を基幹としながら、施設の導入による施設野菜・花き栽培による複合経営を促進します。

また、経営規模の拡大を図る農業者については、八戸平原地区の利用を促し、経営の安定と発展を図ります。

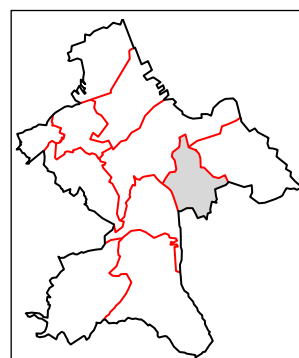
**(6) 振興する農産物**

水稻、ねぎ、ながいも、トマト、トルコギキョウ

## 7 大館地区

### (1) 関係集落名

新井田、塩入、妙、大開、松館、十日市



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	205	101	23	6	72	104
平成22年	195	71	18	4	49	124
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	205	185	10	5	-	5
平成22年	195	179	9	2	-	5
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	170	73	97
平成 22 年	118	50	68
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	312	77	235
平成 21 年	308	76	232
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	53	26	3	2	1	7	3	11
平成 22 年	45	29	-	2	2	6	2	4
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	53	26	17	1	3	1	5
平成 22 年	45	28	8	1	2	2	4
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	53	12	9	6	9
平成 22 年	45	5	18	3	11
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
3	12	2
2	5	1

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	12	17	8	8	4	9
平成 22 年	9	34	5	9	4	25
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	18	13	6	2	14	11
平成 22 年	21	21	14	6	13	15
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南東部に位置し、河川に沿って水田が開けていますが、耕地面積の 8 割は畑となっています。

水稻、露地野菜栽培を基幹とした経営が多いものの、施設花き栽培及び畜産等多様な農業生産が展開されています。

しかしながら、市街地に隣接し、混住化が進んでいます。

**(4) 主に生産されている農畜産物**

水稻、花き、乳牛

**(5) 振興方向**

都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稻については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、主食用及び加工用として生産を継続するとともに、現在、定着している花き、乳牛等の農畜産物については、省力・低コスト生産を促進します。

また、水稻に関する集落営農組織が設立されており、さらなる生産面積の拡大を目指します。

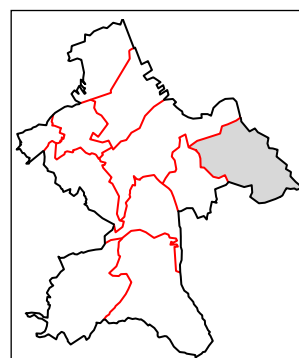
**(6) 振興する農畜産物**

水稻、花き、乳牛

## 8 南浜・美保野地区

### (1) 関係集落名

大久保、町畑、美保野、金吹沢、白浜、種差、大久喜、金浜等



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	235	59	14	5	40	176
平成22年	198	57	9	4	44	141
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	235	212	16	5	1	1
平成22年	198	171	19	4	4	-
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	125	51	74
平成 22 年	80	42	38
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	187	50	137
平成 21 年	184	49	135
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	40	21	6	-	1	7	1	4
平成 22 年	37	12	8	-	1	9	-	7
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	40	19	8	2	2	-	9
平成 22 年	37	12	10	4	2	1	8
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	40	6	17	6	1
平成 22 年	37	9	8	9	1
平成 27 年					

	食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
1		5	4
2		6	2

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	7	3	4	2	5	1
平成 22 年	6	3	4	2	3	1
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	8	5	2	1	6	4
平成 22 年	19	16	6	2	13	14
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南東部に位置し、耕地面積の割合は田 3 割、畑 7 割となっています。  
施設花き（花壇苗等）栽培の専業経営や水稲、露地野菜栽培の複合経営の他、大規模養豚・養鶏の産地が形成されており、県内でも有数の飼養地帯となっています。

また、南浜地区には、国営八戸平原総合農地開発事業によって農地が造成されており、露地野菜栽培が行われています。



#### **(4) 主に生産されている農畜産物**

ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏

#### **(5) 振興方向**

既存の生産品目については、生産技術の向上に努めるとともに、生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。

また、アスパラガスの生産について検討し、農業経営の安定に寄与すると判断された場合は、生産を促進し、経営品目の充実を図ります。

農地造成地域については、農地の流動化を促進し、経営規模の拡大による生産性の向上により、農業経営の安定を図ります。

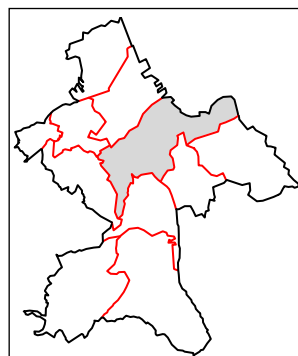
#### **(6) 振興する農畜産物**

アスパラガス、ごぼう、じゃがいも、スイートコーン、にんじん、にんにく、ながいも、ねぎ、花き、養豚、養鶏

## 9 旧市内

### (1) 関係集落名

中居林、板橋、糠塚、売市、根城、田面木、笹子等



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	276	134	32	14	88	142
平成22年	260	97	17	9	71	163
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	276	241	24	9	1	1
平成22年	260	235	19	6	-	-
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	255	110	145
平成 22 年	146	66	80
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期  
日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に  
従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	208	116	92
平成 21 年	205	115	90
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあつ た経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	68	44	5	1	2	-	1	15
平成 22 年	67	40	10	1	1	2	2	11
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産  
又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあつ た経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	68	36	27	-	1	2	2
平成 22 年	67	41	19	1	2	2	2
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	68	19	17	11	10
平成 22 年	67	13	18	9	8
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
-	7	4
-	15	4

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	8	2	6	1	4	1
平成 22 年	11	4	9	4	2	0
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	15	7	9	5	6	2
平成 22 年	11	5	2	0	9	5
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の中心部に位置し、耕地面積の割合は田 6 割、畑 4 割となっておりますが、大部分が市街化区域内にあり、農業への依存度は低く、露地野菜・花き栽培が点在して行われています。

**(4) 主に生産されている農産物**

野菜、花き

**(5) 振興方向**

都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図りながら、都市緑化空間や防災空間としての役割も踏まえ、現在、定着している作物の省力・低コスト生産を促進します。

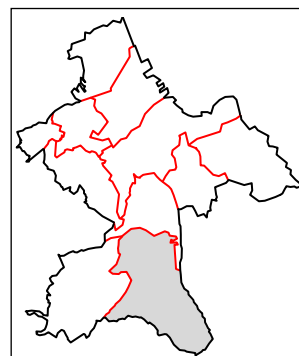
**(6) 振興する農産物**

野菜、花き

## 10 島守地区

### (1) 関係集落名

中谷地、古里、姉市沢、番屋、砂籠、沢田、石橋、巻、江花沢、馬場、高山、門前、荒谷、相畑、頃巻沢、七枚田、不習、十文字



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	396	333	67	71	195	63
平成22年	384	310	80	63	167	74
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	396	237	106	30	19	4
平成22年	384	231	98	30	16	9
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	668	267	401
平成 22 年	591	258	333
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期  
日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に  
従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	825	184	641
平成 21 年	814	182	632
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあつ た経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	276	25	12	33	2	9	142	53
平成 22 年	254	31	22	33	1	11	106	50
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産  
又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあつ た経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	276	52	136	46	17	13	12
平成 22 年	254	63	127	34	17	6	7
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	276	82	13	12	4
平成 22 年	254	88	108	6	13
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
3	8	154
1	20	18

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	82	50	24	8	69	42
平成 22 年	87	64	29	14	74	50
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	80	34	22	7	67	27
平成 22 年	76	41	30	11	60	30
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南部、南郷地区の東部に位置し、新井田川水系流域に耕地が広がっており、耕地面積の 8 割が畑となっています。



**(4) 主に生産されている農畜産物**

水稻、りんご、そば、葉たばこ、肉用牛

**(5) 振興方向**

既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。

また、ブルーベリー等の観光農園により、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。

加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、地域農地の保全を促すとともに、平成 26 年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。

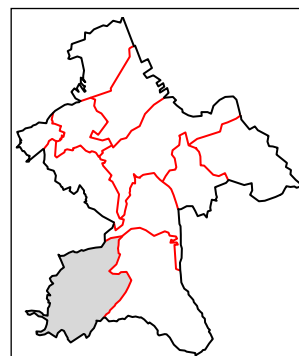
**(6) 振興する農畜産物**

水稻、りんご、葉たばこ、肉用牛

## 11 中沢地区

### (1) 関係集落名

市野沢、馬場瀬、大渡、田ノ沢、泥障作、  
下洗、中野、大蔵、諏訪、半堂、大平、  
鶏島、人形森、鳩田、大森、泥ノ木、狐  
久保、新田



### (2) 農業構造

#### ①農家

##### (a) 農家数の推移

(単位：戸)

	農家数	販売農家数※1				自給的農 家数※2
		計	専業	第1兼	第2兼	
平成17年	407	326	92	85	149	81
平成22年	377	274	108	63	103	103
平成27年						

※1 販売農家：経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が30a未満で、かつ、調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家。

◇農林業センサスより

##### (b) 経営耕地面積規模別農家数の推移

(単位：戸)

	総農家数	1ha未満	1ha-2ha	2ha-3ha	3ha-5ha	5ha以上
平成17年	407	201	118	44	31	13
平成22年	377	198	106	35	29	9
平成27年						

※ 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

## ②農業就業人口

### 農業就業人口の推移

(単位：人)

	農業就業人口	男	女
平成 17 年	666	288	378
平成 22 年	550	265	285
平成 27 年			

※ 農業就業人口：自営農業に従事した世帯員（農業従事者）のうち、調査期日前1年間に自営農業のみに従事した者又は農業とそれ以外の仕事の両方に従事した者のうち、自営農業が主の者。

◇農林業センサスより

## ③耕地面積

### 耕地面積の推移

(単位：ha)

	耕地面積	田	畑
平成 17 年	1,045	166	879
平成 21 年	1,031	164	867
平成 27 年			

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

## ④農業経営体

### (a) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成 17 年	281	27	12	40	1	7	133	61
平成 22 年	254	22	20	41	1	5	107	58
平成 27 年								

※ 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

◇農林業センサスより

### (b) 農産物販売金額規模別経営体数の推移 (単位：上段 万円、下段 経営体数)

	販売のあった経営体数	50 未満	50- 300	300- 500	500- 700	700- 1,000	1,000 以上
平成 17 年	281	66	96	54	25	19	21
平成 22 年	254	69	95	48	15	16	11
平成 27 年							

◇農林業センサスより

**(c) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移** (単位：経営体数)

	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 17 年	281	42	14	42	14
平成 22 年	254	40	119	41	17
平成 27 年					

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
3	14	152
7	20	10

◇農林業センサスより

**(d) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	61	56	17	7	53	49
平成 22 年	68	71	24	11	52	60
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(e) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積** (単位：ha)

	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 17 年	78	53	15	4	70	49
平成 22 年	63	53	11	4	60	49
平成 27 年						

◇農林業センサスより

**(3) 立地条件及び農業生産の特色**

市の南部、南郷地区の西部に位置し、耕地面積の 8 割が畑となっています。

果樹と葉たばこ栽培が盛んであり、生産団地を形成しています。

**(4) 主に生産されている農産物**

ながいも、葉たばこ、そば、ブルーベリー

**(5) 振興方向**

既存産地の生産条件の整備を図り、高生産・高収益農業の確立を促進します。

また、ブルーベリー等の観光農園やグリーン・ツーリズムにより、他地域の住民との交流を推進し、地域振興を図ります。

加えて、そばの生産については、市の制度を利用しながら継続し、地域農地の保全を促すとともに、平成 26 年度から開始したワイン用ぶどうの生産については、生産技術の向上に努め、生産量の確保を図ります。

**(6) 振興する農産物**

ながいも、葉たばこ、ブルーベリー